

## 編集後記



5月中旬に、'95年度ノーベル化学賞受賞者の F.S. Rowland 教授が受賞後初めて来日された。記念講演会と、関係者による受賞祝賀会に参加した。ご存じのように「オゾン層破壊に関する研究」が受賞理由であるが、そのヒントは教授が長く携わっておられた「ホットアトム化学の研究」の中から見いだされたことは間違いない。全く異質に見える2つの研究も広い視野で眺めると、しっかりと繋がっているようである。本号にも8年度で終了したテーマの報告を載せることが出来たが、当センターのテーマで本年度終了する数は更に多い。テーマ名は変わっても研究は継続されることにより、新たな芽吹きも期待できるものと考え。当センターとともに本誌が更に発展していくことを望みつつ、次期編集委員会へバトンタッチである。

(MS)